

## 若い世代の意見などに関する資料

銚子市では、就職を迎える年齢層の転出超過による人口減少が課題になっています。その原因分析と対策を考えるための資料を提示します。

### 転入・転出の理由について

#### 1 転入

	① 仕事の都合	② 結婚など
銚子市アンケート (H27 実施) 対象 184 人	46.7%	14.1%
旭市アンケート (R1 実施) 対象 31 人	51.6%	22.6%

#### 2 転出

	① 仕事の都合	② 結婚など
銚子市アンケート (H27 実施) 対象 203 人	58.6%	20.2%
旭市アンケート (R1 実施) 対象 37 人	59.5%	18.9%

転入・転出ともに、半数近くが仕事の都合を理由としており、次に多い理由は、結婚などとなっています。上位2つの理由で6割～8割近くを占める結果となっています。

資料：銚子市「平成27年度まち・ひと・しごと創生に係る基礎調査業務アンケート調査結果報告書」  
旭市「第2期旭市総合戦略策定のための転入者・転出者アンケート調査結果報告書」

### 若い世代の意見について

#### 1 市内事業所の若い世代の従業員へのインタビュー (12/3～12/18)

(1) 対象者 18人

(2) 主な意見

ア 地元就職の課題 就職先が少ない、情報量が少ない

イ 居住地を選ぶ際に重視するポイント

① 交通の利便性 (都心へのアクセス)

② 神栖市は、土地が安く、子育て支援が充実しているイメージ

#### 2 市内事業所の若い世代の従業員へのアンケート (12/3～12/23)

(1) 対象者 50人

(2) 主な意見 (居住地を選ぶ際に重視するポイント)

① 勤務地からの距離

② 土地の価格・家賃の金額

3 千葉科学大学危機管理学部の学生によるグループワーク (12/9)

- (1) 対象者 39 人
- (2) 主な意見 (地元就職をする場合のポイント)
  - ① 生活の利便性 (交通の便、住み慣れた地域、商業施設などへのアクセス)
  - ② 希望する仕事 (警察、消防、IT 関連、製造 など)

4 その他の大学生 (明治大学・中央大学) との意見交換 (8/27・9/18)

- (1) 対象者 15 人
- (2) 主な意見 (地元就職をする場合のポイント)
  - ① 地方からの情報発信が少ない。
  - ② データでは転職希望者の 70% が地元志向であるのに対し、実際に地元就職した人は 14% に留まる。
  - ③ よく知っている地域で暮らす安心感

5 高校生に関するデータ

(1) 高校生を対象としたアンケート (将来就きたい仕事)

	銚子市 (H27 実施) 対象 314 人	旭市 (R1 実施) 対象 310 人
1	医療・福祉 (24.8%)	医療・福祉 (28.7%)
2	宿泊業、飲食サービス業、理容・美容など (13.7%)	教育、学習支援業 (19.4%)
3	公務員 (12.7%)	宿泊業、飲食サービス業、理容・美容など (16.2%)
4	教師、大学教員など (12.1%)	情報通信業 (IT 関連) (12.3%)
5	建設・製造業など (8.3%)	学術研究、専門・技術サービス (11.6%)

資料：銚子市「平成 27 年度まち・ひと・しごと創生に係る基礎調査業務アンケート調査結果報告書」  
旭市「第 2 期旭市総合戦略策定のための転入者・転出者アンケート調査結果報告書」

(2) 海匝地域における高校生と地元企業との意見交換会 (1/28)

- ア 参加者 高校生 15 人 (東総工業 9 人、敬愛大学八日市場 6 人)、企業 13 社  
イ 主な意見等

(企) 希望に合った会社で、能力を発揮してもらうことが、会社にとっても働く人にとっても一番よい関係が築ける。

(企) 苦勞して採用し、教育・研修をしてきた人材が中途退職する損失は大きい。

(高) どのような福利厚生があるのか、どのような人材を求めているのか。

(3) 市内高等学校進路別卒業生数

	各年 3 月卒業生 (人)						
	総数	大学等	専修学校等	就職	その他	大学等進学率	就職率
H30	726	394	166	142	24	54.3%	19.6%
H29	752	399	164	146	43	53.1%	19.4%

資料：千葉県統計課「学校基本調査結果」